



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月25日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7477 URL <http://www.muraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 清美
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 上中 良典 TEL 042-357-5610
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,992	△0.8	△84	—	△78	—	△97	—
28年3月期第2四半期	4,026	△4.3	△43	—	36	△54.5	11	△66.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △94百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 14百万円 (△65.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△6.88	—
28年3月期第2四半期	0.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	4,583	2,235	48.8	157.47
28年3月期	4,935	2,344	47.5	165.09

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,235百万円 28年3月期 2,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	1.00	—	1.00	2.00
29年3月期	—	1.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,503	5.1	△124	—	△113	—	△168	—	△11.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）株式会社ミツワ商会、除外 — （社名） —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	14,700,000株	28年3月期	14,700,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	500,924株	28年3月期	500,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	14,199,076株	28年3月期2Q	14,199,076株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による経済政策や継続的な金融政策を背景に企業収益の改善や設備投資の持ち直しに加え、雇用環境の改善が見られ景気の好転が期待される一方で国内における実質賃金が伸び悩み中、社会保障制度への不信による将来不安を要因に個人消費の鈍化がみられます。海外に目をやればアジア新興国の景気減速懸念に英国のEU離脱問題が世界経済に影を落とす一方、強い経済指標を示す米国ではニューヨークダウが史上最高値を更新するなど先行きに対する期待は一層強く、米国の利上げのタイミングが世界の注目でもあります。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション（略称：SS）業界においては、大手石油元売会社の経営統合問題に端を発した業界再編の大きな波は燃料市場のシェア拡大路線を前面に押し出した形のSS運営が本流となり、現状、SSにおけるカーメンテナンス収益は洗車と車検に集約化される傾向が色濃くなりつつあります。洗車事業においては販売単価の高い付加価値洗車が席卷し、車検事業の構図は自動車メーカーと台頭する地場部品業者にSSが絡み三つ巴の様相を呈しております。こうした市場環境の変転はSS運営に欠かせない本来のカーメンテナンス収益の提案を役儀とする当社との趣意に多少の隔たりが生まれ、売上高が当初予想を下回りました。

当社はこのマーケットの変容に対し細密な解析を行い市場ニーズに沿った構造改革をもって即応することで収益体質への改善を図ります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 3,992百万円（前年同期比 0.8%減）となりました。

収益面におきましては、営業損失 84百万円（前年同期の営業損失 43百万円）、経常損失 78百万円（前年同期の経常利益 36百万円）、法人税等 19百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は 97百万円（前年同期の親会社株主に帰属する四半期純利益 11百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業については、上記の要因から、売上高は 3,878百万円（前年同期比 0.1%減）、セグメント損失は 85百万円（前年同期のセグメント損失 44百万円）となりました。「その他」の事業につきましては売上高は 144百万円（前年同期比 35.4%減）となりセグメント損失は 277千円（前年同期のセグメント損失 2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は 3,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ 553百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が 422百万円減少したことと受取手形及び売掛金が 40百万円減少したことと商品及び製品が 30百万円減少したこと等によるものです。固定資産は 1,269百万円となり、前連結会計年度末に比べ 201百万円増加いたしました。これは主に土地が 80百万円増加したこと及びのれんの増加 81百万円等によるものです。

この結果、総資産は 4,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ 351百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は 1,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ 240百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 171百万円減少したことと、1年内返済予定の長期借入金が 63百万円減少したこと等によるものです。固定負債は 961百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が 24百万円減少したことと、繰延税金負債が 23百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は 2,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ 243百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,235百万円となり、前連結会計年度末に比べ 108百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失によるものです。

この結果、自己資本比率は 48.8%（前連結会計年度末は 47.5%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計期間年度末に比べ 442百万円減少し、1,415百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は 154百万円です。これは主要因として税金等調整前四半期純損失 78百万円、仕入債務の減少額 291百万円、売上債権の減少額 113百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は45百万円です。これは主要因として連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出39百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は242百万円です。これは主要因として長期借入金の返済による支出297百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日付「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成28年9月15日に公表いたしました「特別損失の計上、平成29年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたなら、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成28年4月1日に関連会社である株式会社ミツワ商会の株式を追加取得し、同社を当社の完全子会社といたしました。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,879,628	1,457,488
受取手形及び売掛金	1,014,423	973,890
商品及び製品	850,357	820,293
繰延税金資産	4,935	5,852
その他	119,187	57,395
貸倒引当金	△817	△525
流動資産合計	3,867,713	3,314,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	770,790	855,241
減価償却累計額	△695,476	△773,809
建物及び構築物（純額）	75,314	81,431
機械装置及び運搬具	16,760	19,139
減価償却累計額	△14,535	△17,100
機械装置及び運搬具（純額）	2,225	2,038
土地	438,325	518,941
リース資産	3,326	3,326
減価償却累計額	△1,718	△2,051
リース資産（純額）	1,607	1,275
その他	198,477	211,432
減価償却累計額	△169,546	△178,497
その他（純額）	28,930	32,935
有形固定資産合計	546,403	636,623
無形固定資産		
のれん	—	81,159
その他	70,877	65,993
無形固定資産合計	70,877	147,153
投資その他の資産		
投資有価証券	57,894	134,297
関係会社株式	39,595	—
差入保証金	332,597	329,553
その他	30,975	32,515
貸倒引当金	△11,002	△11,046
投資その他の資産合計	450,059	485,320
固定資産合計	1,067,340	1,269,097
資産合計	4,935,054	4,583,492

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,007,306	836,146
1年内返済予定の長期借入金	473,698	410,206
リース債務	714	726
未払法人税等	39,305	27,250
賞与引当金	7,422	13,703
その他	97,600	97,702
流動負債合計	1,626,047	1,385,734
固定負債		
長期借入金	627,972	603,551
リース債務	1,053	687
役員退職慰労引当金	42,643	33,660
退職給付に係る負債	282,420	292,075
繰延税金負債	256	23,871
その他	10,479	8,009
固定負債合計	964,825	961,854
負債合計	2,590,873	2,347,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	388,966	277,114
自己株式	△47,442	△47,442
株主資本合計	2,340,829	2,228,977
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,352	6,925
その他の包括利益累計額合計	3,352	6,925
純資産合計	2,344,181	2,235,902
負債純資産合計	4,935,054	4,583,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,026,462	3,992,456
売上原価	2,994,194	2,987,768
売上総利益	1,032,267	1,004,688
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	503,328	523,286
賞与引当金繰入額	7,443	11,549
役員退職慰労引当金繰入額	5,218	7,882
その他	560,250	546,892
販売費及び一般管理費合計	1,076,240	1,089,610
営業損失(△)	△43,972	△84,922
営業外収益		
受取利息	1,231	1,064
仕入割引	11,698	6,279
保険解約返戻金	67,010	—
貸倒引当金戻入額	215	938
その他	6,324	4,124
営業外収益合計	86,480	12,405
営業外費用		
支払利息	4,081	4,458
手形売却損	736	578
その他	1,643	761
営業外費用合計	6,460	5,798
経常利益又は経常損失(△)	36,046	△78,314
特別損失		
固定資産除却損	283	0
特別損失合計	283	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	35,763	△78,314
法人税、住民税及び事業税	24,918	19,865
法人税等調整額	△809	△527
法人税等合計	24,109	19,338
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,653	△97,652
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	11,653	△97,652

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,653	△97,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,260	3,573
その他の包括利益合計	3,260	3,573
四半期包括利益	14,913	△94,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,913	△94,079
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	35,763	△78,314
減価償却費	13,457	22,744
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△226	△948
のれん償却額	—	2,081
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,953	1,981
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,516	720
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,218	△8,983
受取利息及び受取配当金	△1,413	△1,566
支払利息	4,081	4,458
保険解約損益(△は益)	△67,010	—
固定資産除却損	283	0
売上債権の増減額(△は増加)	111,415	113,662
たな卸資産の増減額(△は増加)	55,885	81,486
その他の流動資産の増減額(△は増加)	53,295	49,811
差入保証金の増減額(△は増加)	6,949	437
仕入債務の増減額(△は減少)	△218,586	△291,842
その他の流動負債の増減額(△は減少)	8,119	△19,943
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△960	△2,470
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,362	7,305
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	1,014	604
その他	463	400
小計	△16,176	△118,376
利息及び配当金の受取額	784	943
利息の支払額	△3,577	△4,386
法人税等の支払額	△43,297	△32,694
営業活動によるキャッシュ・フロー	△62,267	△154,513
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△4
有形固定資産の取得による支出	△2,371	△11,118
無形固定資産の取得による支出	—	△5,565
投資有価証券の取得による支出	△298	△306
投資有価証券の売却による収入	—	61
貸付けによる支出	△2,600	△300
貸付金の回収による収入	3,092	3,515
差入保証金の差入による支出	△823	△642
差入保証金の回収による収入	2,212	8,468
長期前払費用の取得による支出	△1,046	△233
保険積立金の解約による収入	156,727	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△39,934
その他	△28,762	733
投資活動によるキャッシュ・フロー	126,129	△45,325

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△30,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△206,856	△297,776
社債の償還による支出	△24,750	—
配当金の支払額	△14,348	△14,306
その他の支出	△342	△490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△246,297	△242,572
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△182,434	△442,411
現金及び現金同等物の期首残高	1,817,575	1,857,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,635,140	1,415,216

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーケア関連 商品販売	その他 (注3)	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,885,884	140,577	4,026,462	—	4,026,462
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	51	83,026	83,077	(83,077)	—
計	3,885,935	223,603	4,109,539	(83,077)	4,026,462
セグメント損失 (△)	△44,105	△2,066	△46,172	2,199	△43,972

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額 2,199千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 「その他」の区分には、「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	カーケア関連 商品販売	その他 (注3)	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	3,878,209	114,246	—	3,992,456
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	10	30,142	(30,153)	—
計	3,878,220	144,389	(30,153)	3,992,456
セグメント損失 (△)	△85,244	△277	600	△84,922

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額 600千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 前連結会計年度末より、近年激変する市場環境に対応するため事業内容を見直した結果、「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等を報告セグメントに含まれない「その他」としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「カーケア関連商品販売」セグメントにおいて、当社は平成28年4月1日付けで株式会社ミツワ商会の全株式を取得し子会社化しております。

これによる当第2四半期連結累計期間におけるのれんの発生額は83,240千円であります。